

ActiveCockpit: 双方向コミュニケーションプラットフォーム

ActiveCockpitでできること



1. 製造に関わる情報を統合

ActiveCockpitを開けば、すべてが確認できます。

2. いろいろなデバイスで、どこからでも

工場の大きなタッチパネルやオフィスのPC、出張先からでも使用できます。

3. MESやERPに接続し、リアルタイムデータを取得

時間削減とヒューマンエラーの防止が実現できます。

4. 製造ラインで起こっている異常を共有

コミュニケーションを助け、復旧までの時間を短縮します。

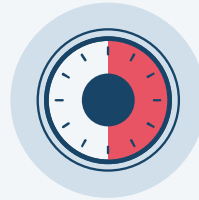
ActiveCockpit: 双方向コミュニケーションプラットフォーム

活用イメージ

ActiveCockpit導入前



手動でデータ作成、印刷、掲示

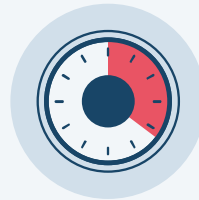


作業工数

ActiveCockpit活用 : Step 1

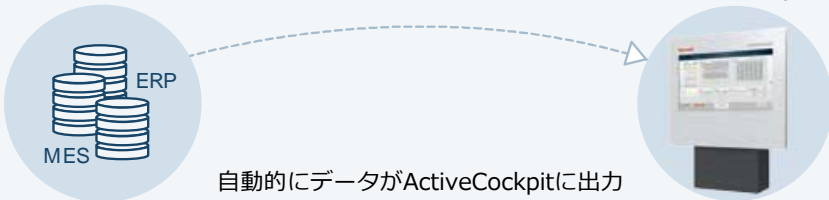


手動でデータ作成 + ActiveCockpitに出力



作業工数

ActiveCockpit活用 : Step 2



自動的にデータがActiveCockpitに出力



作業工数

作業工数削減以外にも

- ・リアルタイムデータを確認できる
- ・ヒューマンエラーの防止



最新のデータに基づく意思決定
ただちに情報展開

